

MS612-0K001

ハードトノカバー

取付・取扱要領書

この度はハードトノカバーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取付け、取扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取付け前に必ずお読みのうえ、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

- 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付けは車両登録後に行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず専門の整備工場で行ってください。
- 本商品の取付け作業・部品交換は、必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	適合車種	備考
MS612-0K001	ハイラックス '17.9～	

※トヨタ純正オプション《ベツライナー》との同時装着の場合、ベツライナーのカット加工が必要となります。本書の要領をご確認のうえ作業を行なってください。

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>

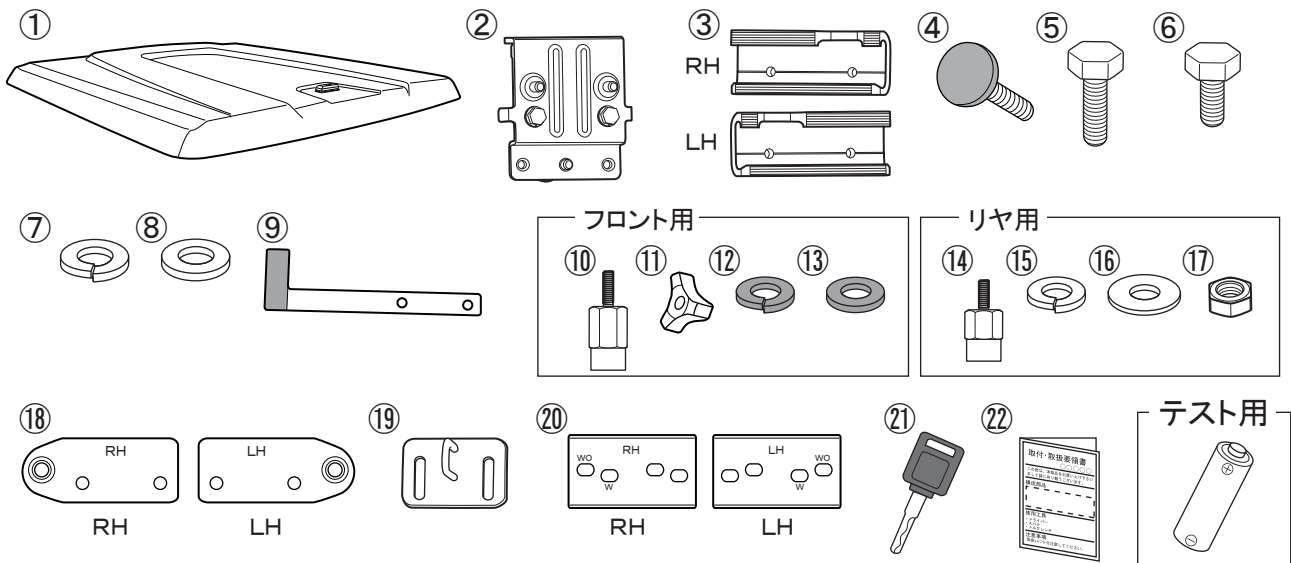
- ① 本製品はデッキ内部への雨水の流入を完全に防ぐものではありません。
- ② 降雪時など、こまめに雪降ろしを行ってください。
- ③ ドームライトは電池式のため、消し忘れに注意してください。
- ④ 別途単 3 電池 4 本をご購入いただき、ドームライトに装着してください。

■ 構成部品

No.	品名	個数	備考
①	トノカバー	1	
②	クランプ	4	
③	ブラケット (RH/LH)	各2	
④	ストッパー	4	ナット組付済
⑤	ボルトA	8	M8×40
⑥	ボルトB	4	M8×20
⑦	スプリングワッシャー	12	
⑧	平ワッシャー	12	
⑨	クランプガイド	2	
⑩	エクステンションボルト(長)	4	フロント用
⑪	ハンドルナット	4	
⑫	スプリングワッシャー(黒)	4	
⑬	平ワッシャー(黒)	4	
⑭	エクステンションボルト(短)	4	リヤ用
⑮	スプリングワッシャー	4	
⑯	平ワッシャー	4	
⑰	ナット	4	
⑱	ダンパーベース (RH/LH)	各1	
⑲	ストライカー	2	
⑳	ホルダー (RH/LH)	各1	
㉑	キー	3	
㉒	取付・取扱説明書	1	
	単三電池	4	テスト用

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取付け上のご注意（取付け作業の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重傷等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠ 注意

- ❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合がないことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生した上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。
- ❗ 取付け作業は、必ずエンジンが冷えていることを確認してください。エンジンルーム、マフラーが熱いとヤケドをすおそれがあります。
- ❗ 取付け作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、パーキングブレーキがかかっていることを確認後行なってください。
車両が予期せずに動き、体を挟むなどの重度な事故の原因となります。
- ❗ 取付け後、本商品と他の部品との干渉を確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
- ❗ 本商品装着後に、衝突などの強い衝撃を受けた場合は直ちにご使用を中止してください。取付け部分や本体に変形や破損、故障が生じる場合があります。必ず、整備工場にて点検を受けてください。
- ❗ 本商品取付け後、走行中に異常な振動や異音を感じたら直ちに安全な場所に停車してください。そのまま走行を続けると、重大な事故や破損の原因となる場合があります。整備工場にて点検を受けてください。

取付けが終わったら

- ❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
 - ❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
 - ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
- 不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ至急ご連絡をお願いいたします。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～2
2. 取付け上のご注意（取付け業者の方へ） 3
3. 目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 4
4. ベットライナーの加工作業 5
5. 取付準備、取付要領 6～11
6. 取付完了後の点検・注意事項 11
7. 補修キットプロテクター貼付け 12

■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具・トルクレンチ
- ・ 加工用工具（ハサミ・カッター等）・エアソー・ヤスリ
- ・ 保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ

■ 保証について

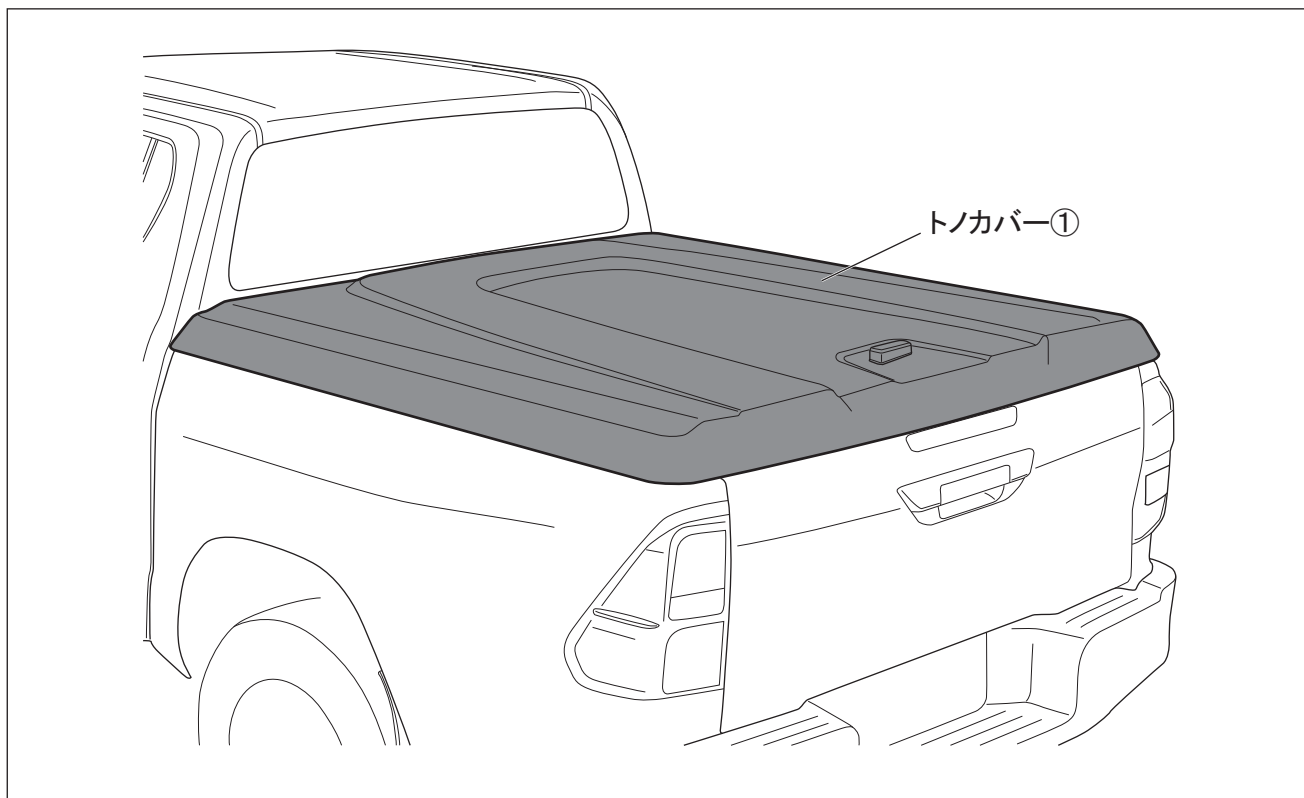
本商品は、1年・20,000Kmの保証を実施致します。

（1年または20,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



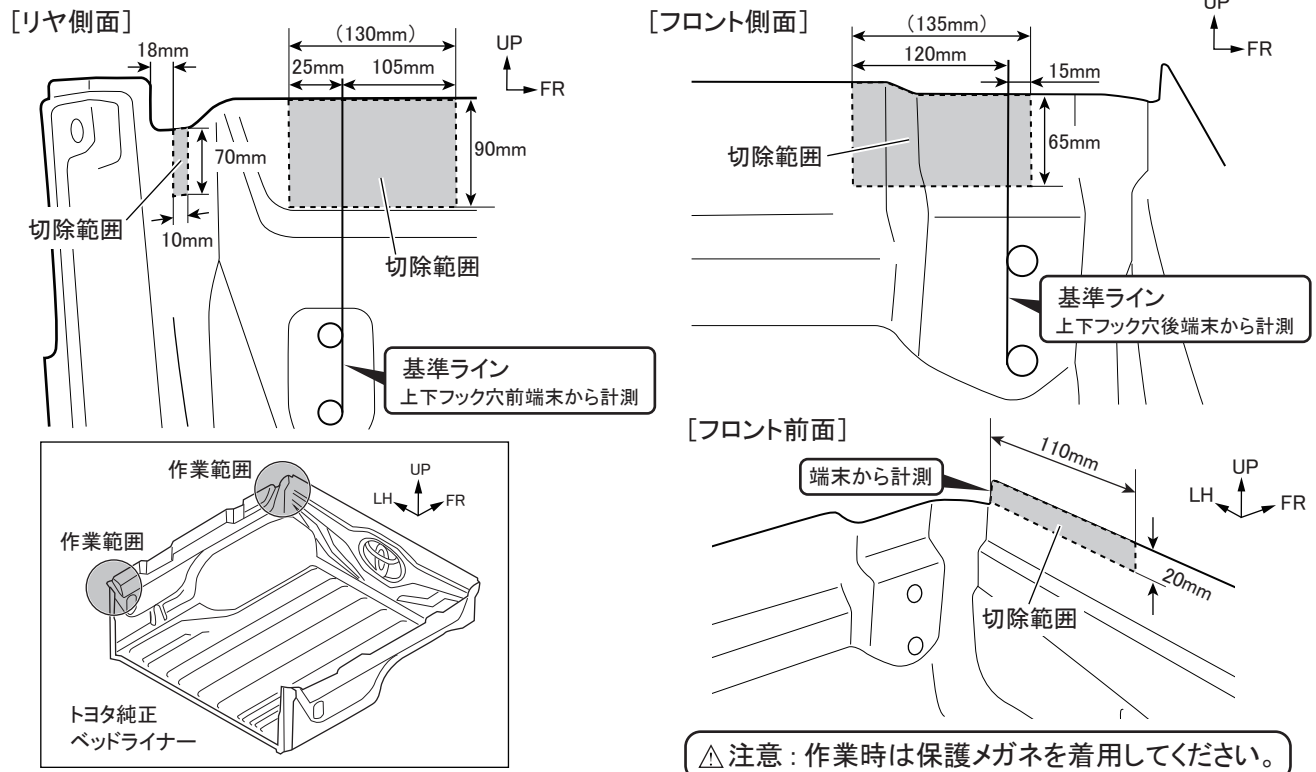
ベッドライナー未装着の場合は、6ページに進み作業を行ってください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

■ベッドライナーの加工作業

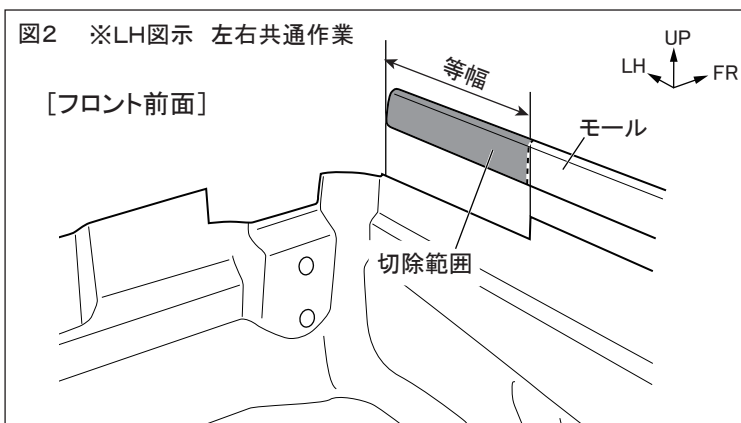
1. 車両からベッドライナーを取外す。
2. 図1のようにベッドライナーを図示寸法で計測し、エアソー等で切除加工する。

図1 ※LH図示 左右共通作業



アドバイス：クランプ②③取付け時に干渉する場合は切除部を適宜拡大してください。

図2 ※LH図示 左右共通作業



3. 切除部周囲のバリを除去する。
4. 図2のようにベッドライナーフロント前面の切除範囲に合わせてモールを切除加工する。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

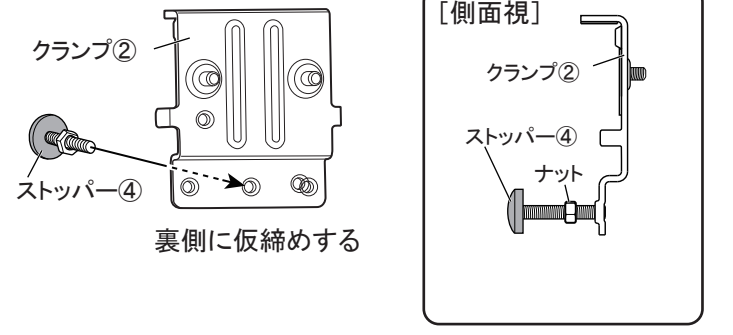
5. 切除部周囲のバリを除去する。
6. ベッドライナー付属の取付・取扱説明書を参照し、ベッドライナーを車両に取付ける。

■ 取付準備、取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

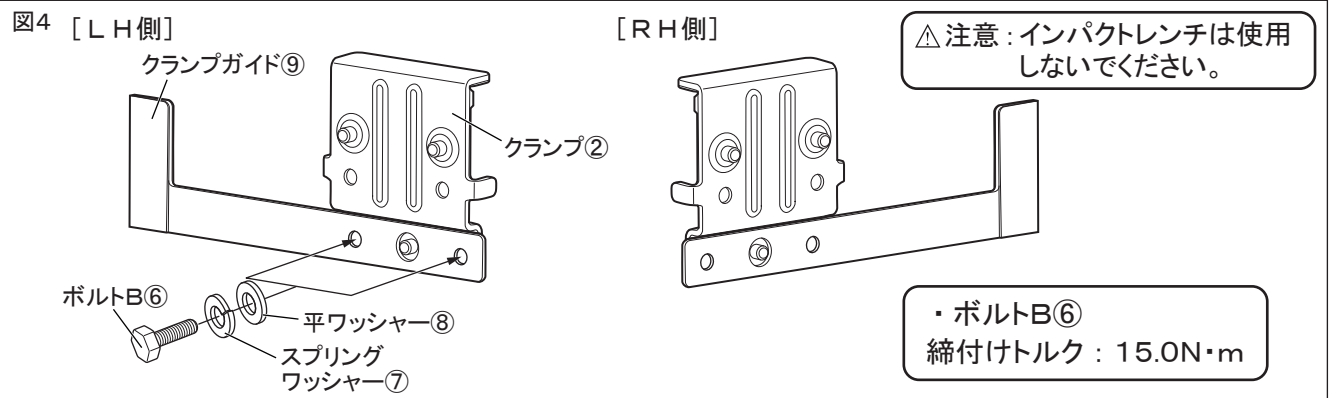
□ハードトノカバーの取付準備

図3



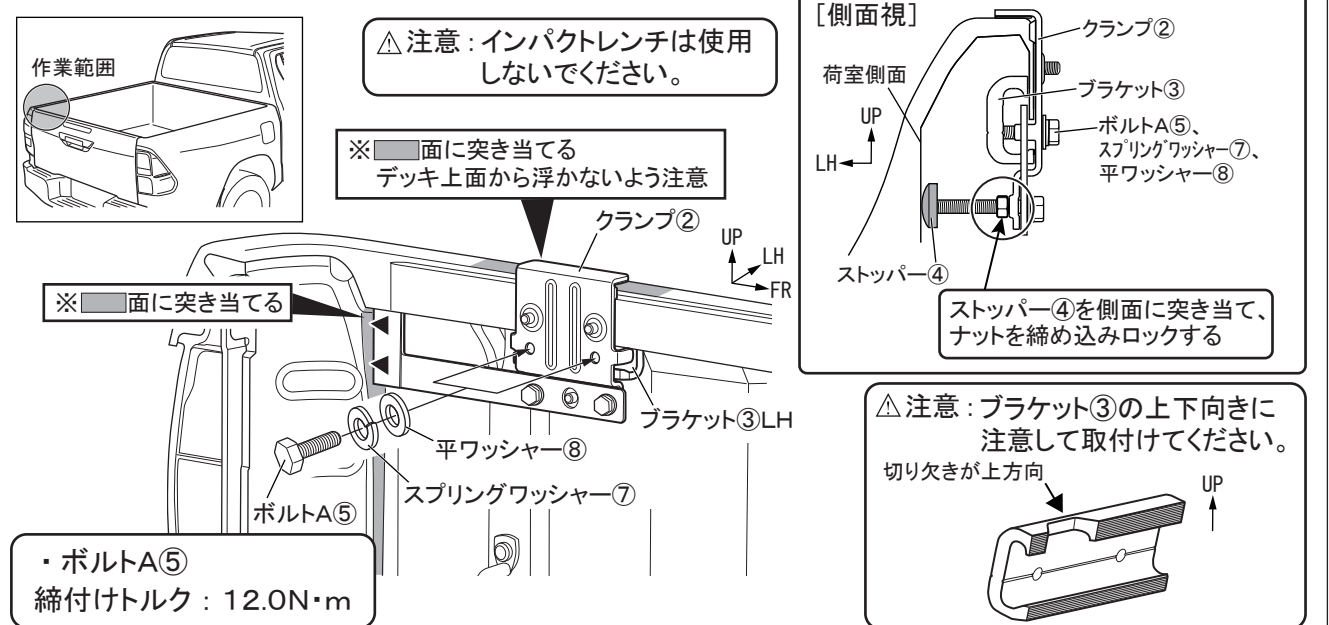
1. 図3のようにクランプ②裏側にストッパー④を仮締めする。(4個組付け)

2. 図4のようにクランプ②にクランプガイド⑨をボルトB⑥、スプリングワッシャー⑦、平ワッシャー⑧で取付け、指定トルクで本締めする。(左右各1組)



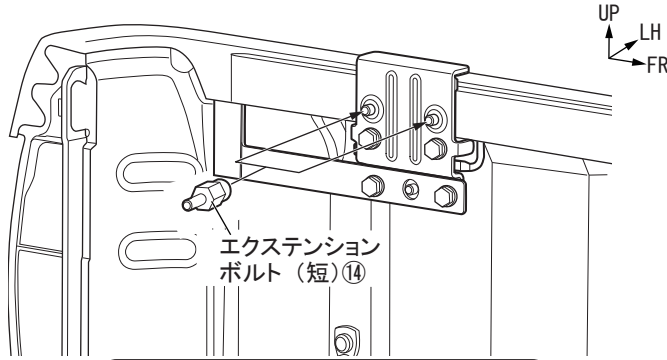
3. 図5のようにクランプ②を車両荷台内側にクランプガイド⑨を後方へ突き当てながら位置決めし、裏側からブラケット③で挟み、ボルトA⑤、スプリングワッシャー⑦、平ワッシャー⑧で固定し、指定トルクで本締めする。(左右各2箇所)
クランプ②を固定後、ストッパー④を荷室側面に突き当ててナットを締め込みロックする。(左右各1箇所)

図5 ※LH図示 左右共通作業



△注意: クランプガイド⑨は必ず図示面 (■部) に突き当ててください。突き当て面がずれた場合、クランプ②の固定が不完全となり、トノカバー①のガタつき等が発生するおそれがあります。

図6 ※LH図示 左右共通作業



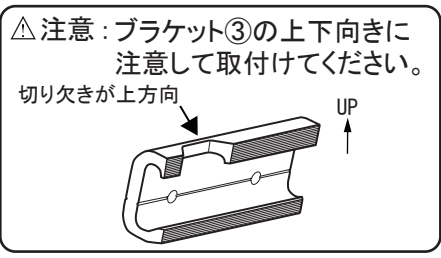
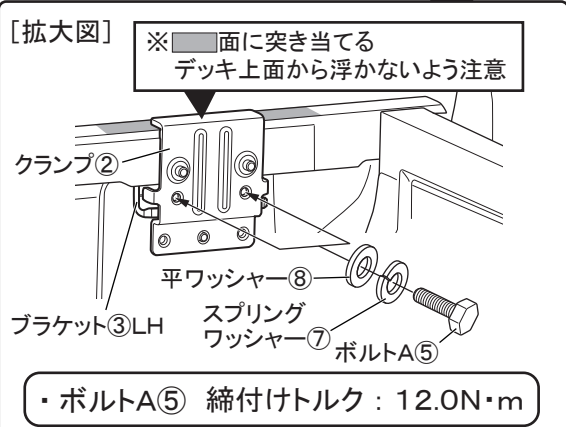
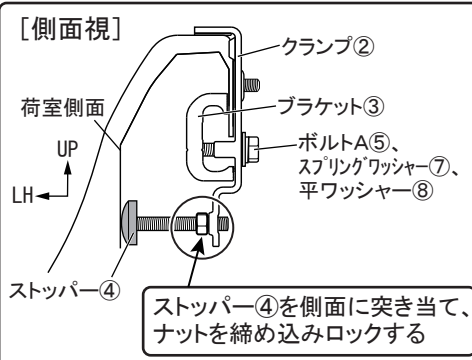
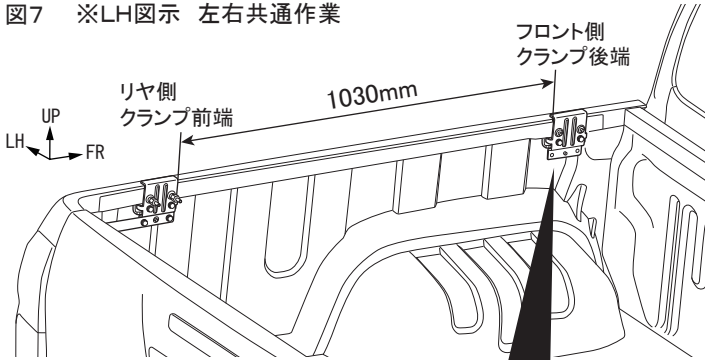
・エクステンションボルト (短) ⑭
締付けトルク : 15.0N・m

4. 図6のようにクランプ②にエクステンションボルト (短)⑭を取付け、指定トルクで本締めする。(左右各2箇所)

△注意 : インパクトレンチは使用しないでください。

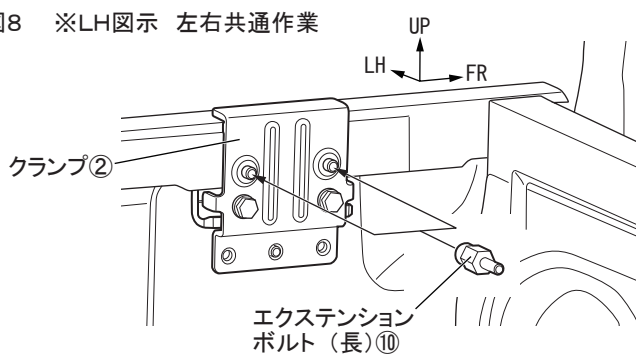
5. 図7のように図示寸法で計測して車両荷台内側にクランプ②をあて、裏側からブラケット③で挟み、ボルトA⑤、スプリングワッシャー⑦、平ワッシャー⑧で固定し、指定トルクで本締めする。(左右各2箇所)
クランプ②を固定後、ストッパー④を荷室側面に突き当ててナットを締め込みロックする。(左右各1箇所)

図7 ※LH図示 左右共通作業



△注意 : インパクトレンチは使用しないでください。

図8 ※LH図示 左右共通作業



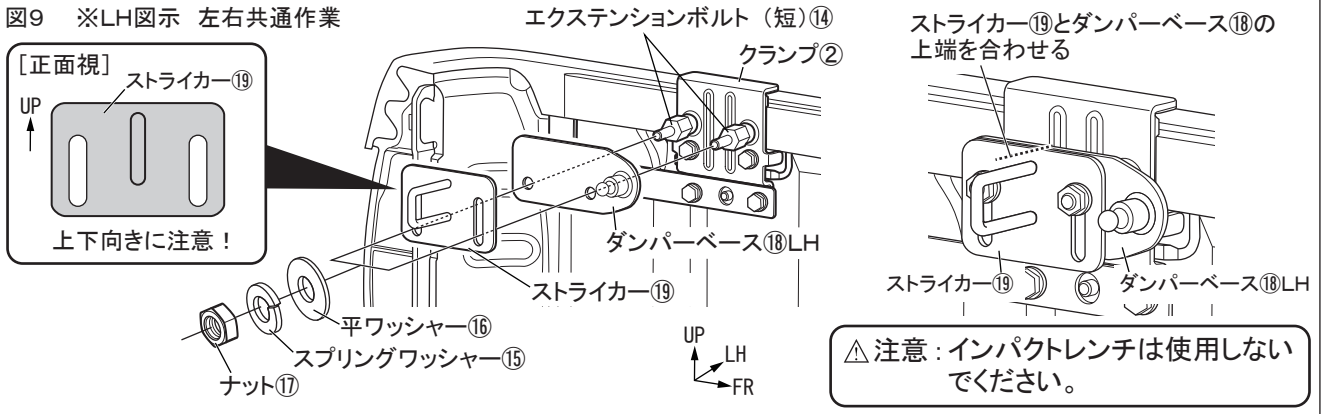
・エクステンションボルト (長) ⑩
締付けトルク : 15.0N・m

6. 図8のようにクランプ②にエクステンションボルト (長)⑩を取付け、指定トルクで本締めする。(左右各2箇所)

△注意 : インパクトレンチは使用しないでください。

7. 図9のようにリヤ側のクランプ②に取付けたエクステンションボルト（短）⑭にダンパーベース⑱、ストライカー⑲の順で差し込み、ナット⑰、スプリングワッシャー⑮、平ワッシャー⑯で仮締めして取付ける。
（左右各2箇所）

図9 ※LH図示 左右共通作業



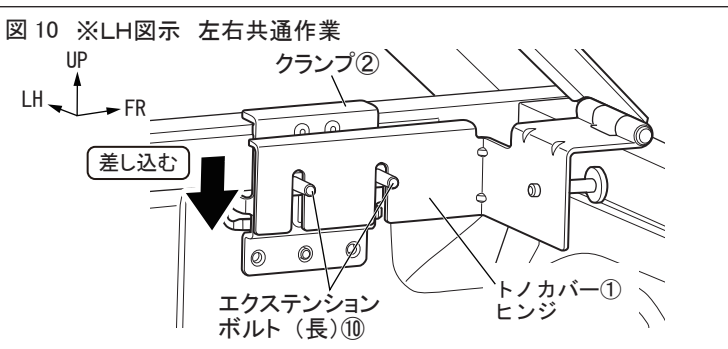
△注意：ストライカー⑲とダンパーベース⑱の位置確認は重要な作業です。
不十分な場合、トノカバー①のガタつきによる荷台上部の傷つき等が発生するおそれがあります。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ハードトノカバーの取付要領

1. トノカバー①のダンパー部およびヒンジ部の結束バンドを切り取る。

図10 ※LH図示 左右共通作業

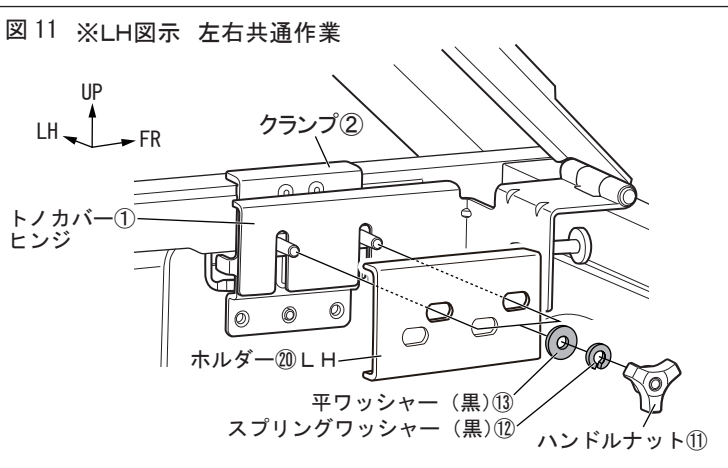


2. 図10のようにトノカバー①を車両荷台に載せヒンジ部をクランプ②に取付けたエクステンションボルト（長）⑩に差し込む。
（左右各1箇所）

△注意：トノカバー①を載せる際は、3人以上で行ってください。

△注意：ヒンジ部取付けの際は必ずトノカバー①を開けた状態で保持してください。
トノカバー①が不意に閉じてしまうと四肢や頭部が挟まり、重大な怪我の原因となるおそれがあります。

図11 ※LH図示 左右共通作業



3. 図11のようにトノカバー①のヒンジ部にホルダー⑳を被せ、ハンドルナット⑪、スプリングワッシャー（黒）⑫、平ワッシャー（黒）⑬で仮止めする。

△注意：ホルダー⑳の穴位置は下図位置2箇所（WO）を使用します。
取付け時に穴位置を間違いないように注意してください。

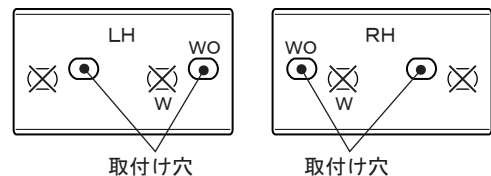
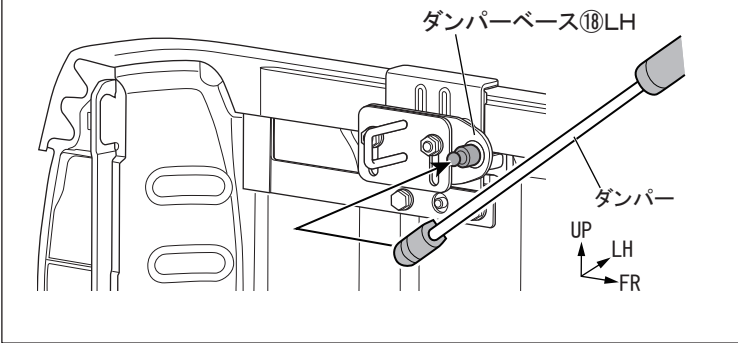
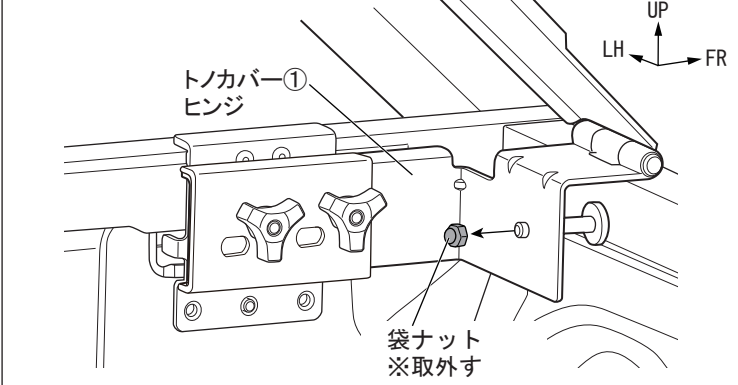


図 12 ※LH図示 左右共通作業



4. 図 12 のようにトノカバー①のダンパーをダンパーベース⑩に取付ける。

図 13 ※LH図示 左右共通作業



5. 図 13 のようにトノカバー①のヒンジ部表側の袋ナットを取外す。(左右各 1箇所)

6. 図 14 のようにトノカバー①のヒンジ部取付け位置を調整しながらハンドルナット⑪を本締めする。

7. 図 14 のようにヒンジ部裏側のストッパーを車両荷台前面(■部)に突き当て、ナットを締め込みロックする。(左右各 1箇所)

図 14 ※LH図示 左右共通作業

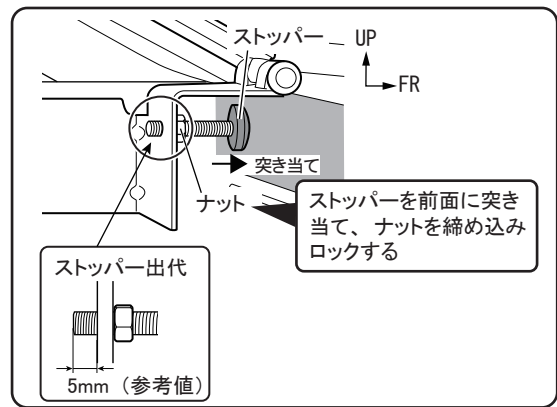
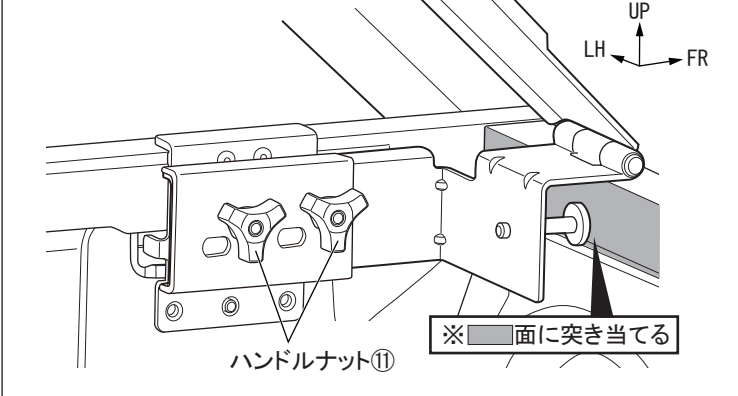
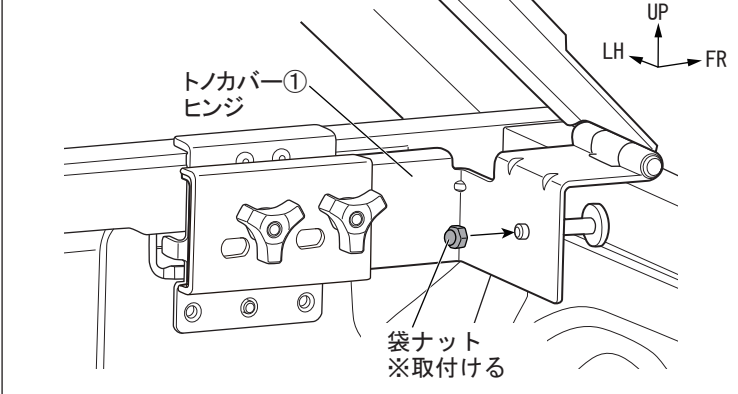


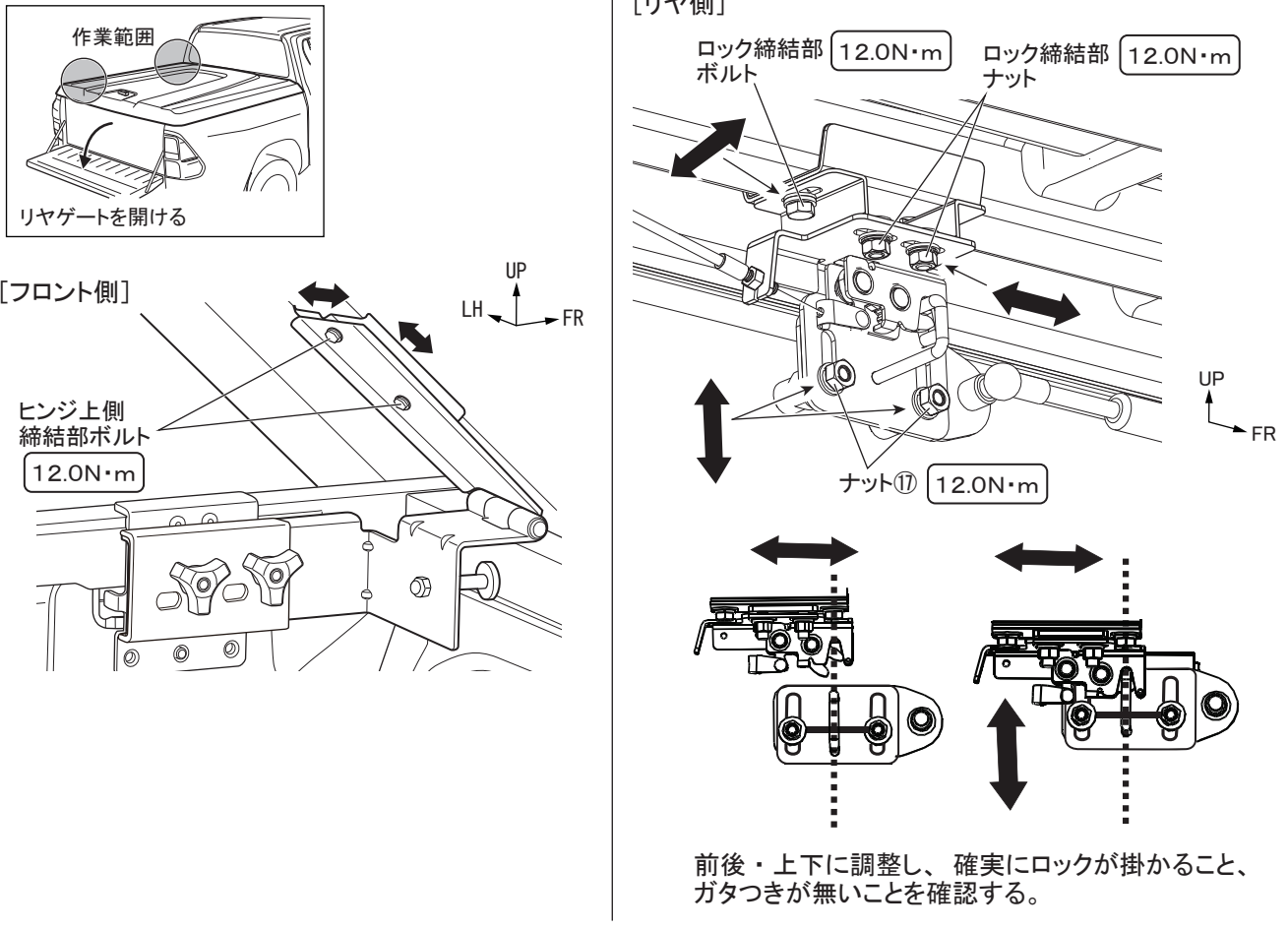
図 15 ※LH図示 左右共通作業



8. 図 15 のようにトノカバー①のヒンジ部表側に作業 5. で取外した袋ナットを取付ける。(左右各 1箇所)

9. 図 16 のようにリヤゲートを開けた状態でトノカバー①を静かに閉めてロックとストライカーの調整を行う。トノカバー①のフロント側ヒンジ上側締結部（ボルト）および、リヤ側ロック締結部（ボルト、 ナット）とクランプ②のナット⑰を緩め、確実にロックが掛かるように調整し、トノカバー①が周囲一定隙であること、ガタつきが無いことを確認して固定し、指定トルクで本締めする。（左右各1箇所）

図 16 ※LH図示 左右共通作業



△ 注意 : ストライカー⑱とダンパーベース⑲の位置を再確認してください。
 不十分な場合、トノカバー①のガタつきによる荷台上部の傷つき等が発生するおそれがあります。
 (8ページ 作業7参照)

10. 各部調整後、リヤゲートを閉めた状態でハードトノカバーの開閉要領（次項）を参照し、再度開閉の調整を行う。

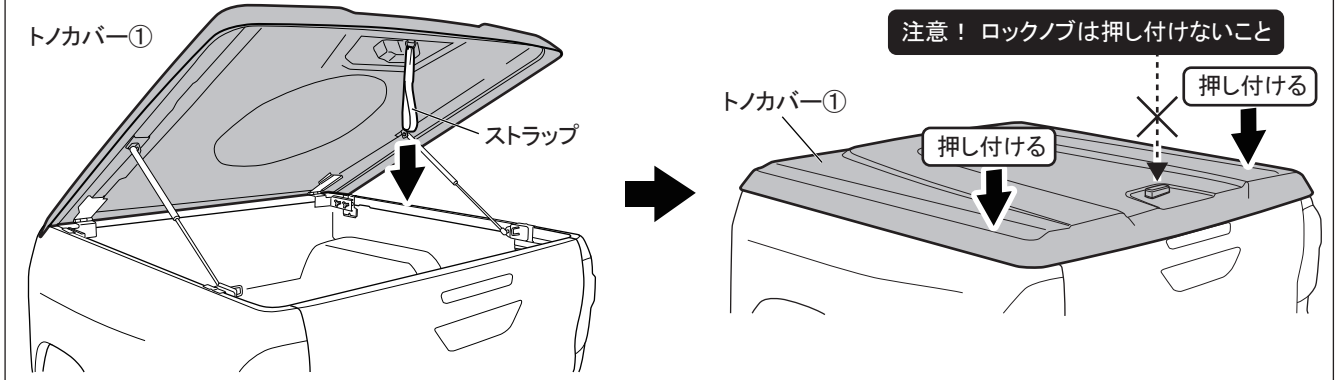
ハードトノカバー締付けトルク一覧表

締付け部位	部品 No.	締付けトルク	本数
クランプガイド⑨	ボルトB⑥	15.0N·m	4
クランプ②、ブラケット③	ボルトA⑤	12.0N·m	8
クランプ②	エクステンションボルト⑩⑭	15.0N·m	8
クランプ②	ナット⑰	12.0N·m	4
トノカバー① ロック締結部	ボルト	12.0N·m	8
トノカバー① ロック締結部	ナット	12.0N·m	4

□ハードトノカバーの開閉要領

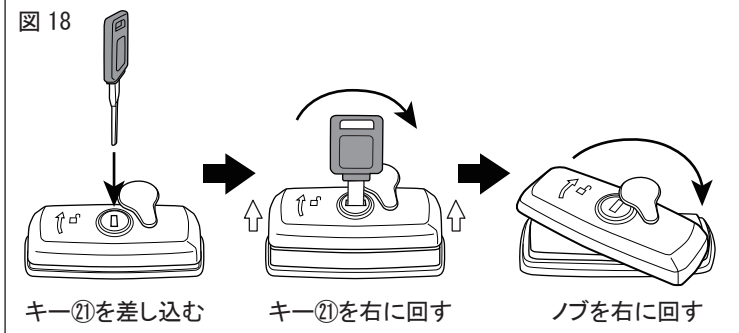
1. 図 17 のようにトノカバー①後部内側のストラップを真下に引きながら閉め、ストラップを荷台内部に収めてからトノカバー①の左右ロック部（ストライカー上部）を押し付けるように閉める。

図 17



- △ 注意：トノカバー①を閉めるときは、必ずリヤゲートを閉めてください。また、キー②を荷台に残し、トノカバー①をロックしてしまうと開錠が出来なくなるため、必ず荷台を確認してください。また、強い勢いで閉めるとロック部、ヒンジ部が破損するおそれがある為、注意してください。

図 18



2. 図 18 のようにトノカバー①のロックノブにキー②を差し込み、ロックノブを回したままトノカバー①を開ける。

- △ 注意：走行前に必ずハードトノカバーの取付け状態を確認してください。

- △ 注意：トノカバー①裏側のランプは、単三電池を使用してください。ランプは、開閉連動ではないため、ハードトノカバーを閉める際は、スイッチを切り消灯してください。

■取付完了後の点検・注意事項

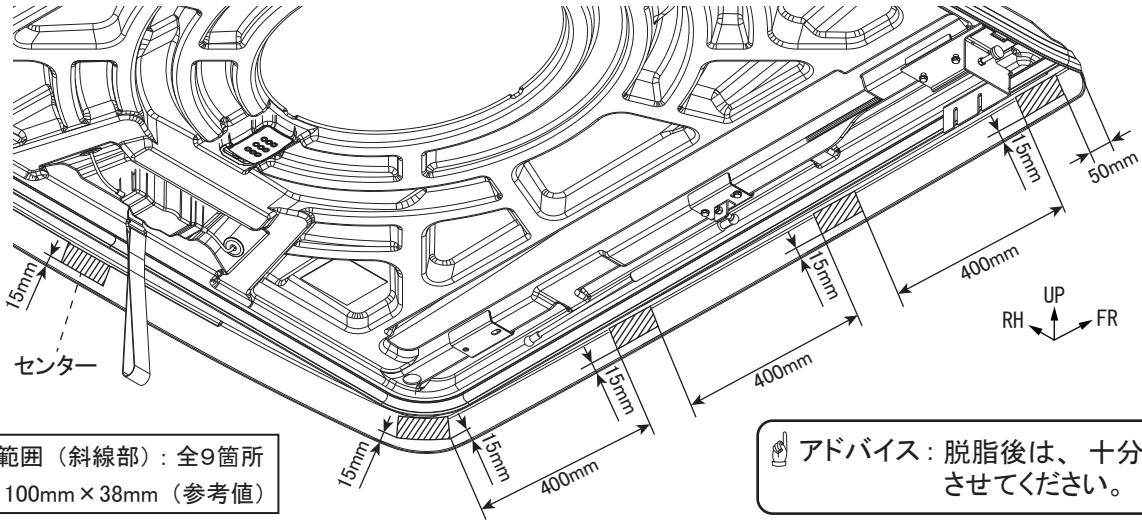
1. 製品全周に渡り、浮き等が無いことを確認する。
2. 車両及びハードトノカバー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. トノカバー内側のプロテクターは荷台に当たっていない状態が正常です。
4. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。
5. 装着後は、定期的(定期点検時など)に締付けトルク一覧表を参照し、各部の締付け点検を行う。

■ 補修キットプロテクター貼付け

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

1. 図 19 のようにトノカバー①内側プロテクター貼付け部（下図斜線部）の汚れを取除き、IPA又はホワイトガソリンで方向に拭いて脱脂し、プライマー（PAC プライマー N-200 相当）を塗布する。

図 19 ※LH図示 左右共通作業

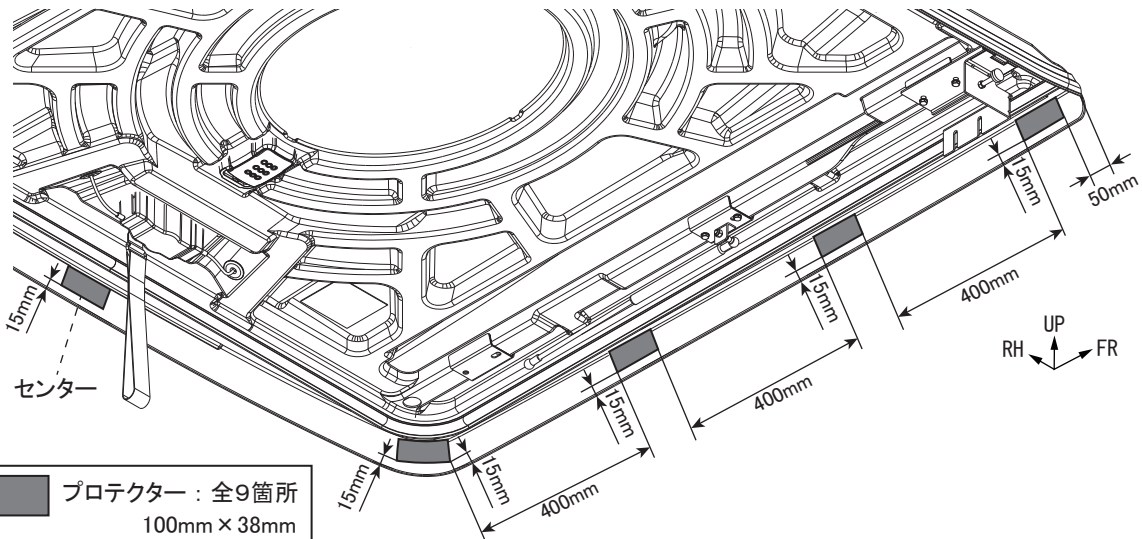


△注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

△注意: プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

2. 図 20 のようにプロテクターを貼付ける。

図 20 ※LH図示 左右共通作業



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>